

【重点分野－3】連合「なんでも労働相談ホットライン」（☎0120-154-052）  
2020年5月 相談集計報告

○全体の特徴

- 全体で1,469件の相談が寄せられ、昨年の1,364件より105件増、前々月・前月同様、正社員以外で働く方からの相談が約6割を占めた。
- 業種別については、前々月・前月同様「サービス業（他に分類されないもの）」（180件・18.5%）が最も多かった。
- 相談内容別では、コロナ禍の影響により、「休業補償」（231件・15.7%）が一番多く、「解雇・退職強要・契約打切」（194件・13.2%）が続いた。
- 具体的な相談では、「保育士をしているが、自粛登園により子供も少なく、感染防止の点からも正社員はローテーションで休暇を取得。契約社員の私は毎日出勤させられている」、「妊娠した娘と同居しているため、引き続き在宅勤務を希望したが、新生児がいる他の社員も出勤させる予定なので、認められないと言われた。」といった、新型コロナウイルス感染拡大に伴う相談が多く寄せられた。

		2020年			2019年		
集計対象期間		5月1日～5月31日			5月1日～5月31日		
受付件数(受付件数のみ報告分含)		1,469			1,364		
報告(本部・地方)数		48			48		
項目	内容	件数	割合	内容	件数	割合	
性別 (未報告除く)	男性	681	46.4%	男性	662	48.5%	
	女性	787	53.6%	女性	699	51.2%	
	その他	1	0.1%	その他	3	0.2%	
年代 (不明除く)	10代	9	1.0%	10代	9	1.1%	
	20代	96	11.0%	20代	113	13.8%	
	30代	177	20.3%	30代	136	16.6%	
	40代	225	25.8%	40代	219	26.7%	
	50代	207	23.7%	50代	217	26.4%	
	60代	123	14.1%	60代	104	12.7%	
	70代	35	4.0%	70代	23	2.8%	
雇用形態 (未報告除く)	正社員	601	40.9%	正社員	676	49.6%	
	パートタイマー	298	20.3%	パートタイマー	242	17.7%	
	アルバイト	118	8.0%	アルバイト	65	4.8%	
	契約社員	119	8.1%	契約社員	108	7.9%	
	臨時・非常勤職員	21	1.4%	臨時・非常勤職員	13	1.0%	
	嘱託社員(再雇用含)	17	1.2%	嘱託社員(再雇用含)	14	1.0%	
	派遣社員	112	7.6%	派遣社員	72	5.3%	
	その他	183	12.5%	その他	174	12.8%	
業種(上位) (不明除く)	1位	サービス業(他に分類されないもの)	180	18.5%	医療、福祉	187	20.6%
	2位	医療、福祉	137	14.1%	サービス業(他に分類されないもの)	164	18.1%
	3位	卸売・小売業	120	12.3%	製造業	118	13.0%
	4位	飲食店、宿泊業	115	11.8%	卸売・小売業	105	11.6%
		製造業	115	11.8%	運輸業	85	9.4%
相談内容(上位) (未報告除く)	1位	休業補償	231	15.7%	パワハラ・嫌がらせ	175	12.8%
	2位	解雇・退職強要・契約打切	194	13.2%	雇用契約・就業規則	117	8.6%
	3位	パワハラ・嫌がらせ	143	9.7%	退職手続	113	8.3%
	4位	雇用契約・就業規則	99	6.7%	年次有給休暇	100	7.3%
	5位	年次有給休暇	55	3.7%	解雇・退職強要・契約打切	91	6.7%
情報源・ルート (不明除く)	新聞・雑誌	88	6.8%	新聞・雑誌	15	1.2%	
	ラジオ・テレビ	82	6.4%	ラジオ・テレビ	10	0.8%	
	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	53	4.1%	ビラ・チラシ・パンフ(折込含)	64	5.3%	
	ホームページ	794	61.6%	ホームページ	807	66.9%	
	SNS(フェイスブック・ツイッター)	16	1.2%	SNS(フェイスブック・ツイッター)	14	1.2%	
	紹介	121	9.4%	紹介	110	9.1%	
	その他	134	10.4%	その他	186	15.4%	

【参考】2020年5月 連合本部 インターネット労働相談受付件数223件